# **タイトル中央揃えフォントサイズ14ポイント**

# **―サブタイトルは改行して中央揃え―**

# 名字 名前

# 所属先　研究室名

**要約**

要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。要約は400字以内。

**キーワード：**キーワード１，キーワード２，キーワード３，キーワード４，キーワード５

# **1. はじめに**

# このテンプレートは教職教育研究に投稿する論文に使用するものである。和文論文の場合にはこのテンプレートに従い執筆する。400字以内の和文要約を記載し, その末尾には5つ以内のキーワードをつける。英文要約は任意とし，記載する場合は300語以内の要約, 5つ以内のKeywordsを英語で記入する。

# **1.1 タイトルの書き方**

日本語タイトルでは，サブタイトルの前後をダッシュ「―」で挟む。英語タイトルでは，冠詞および3文字以下の接続詞・前置詞以外は，すべての語の語頭を大文字とする。サブタイトルはコロンで区切る。

# **1.2 所属の書き方**

所属は所属先と研究室名を記載する。非常勤の場合は（非）などは記入しないこと。著者が複数いる場合は，以下のように記入する。尚、筆頭著者の所属先住所、メールアドレスなど連絡先は1ページ下の余白（フッター）に記入する（任意）。

松藤薫子1・野瀬出2・畠山仁3

1 日本獣医生命科学大学　英語学研究室

2 日本獣医生命科学大学　比較発達心理学研究室

3 日本獣医生命科学大学　 比較細胞生物学研究室

非常勤の場合は（非）などは記入しないこと。教職課程の非常勤講師の所属は，現職の中高の教員の場合，所属学校名を，所属が無い場合は「日本獣医生命科学大学　教職課程」と記入する。

# **1.3 書式注意点**

# 本文の太字，余白，文字フォント，インデントなど，すべての設定をこのテンプレートに従い変更しないこと。特に，別ファイルで用意した原稿を貼付ける場合には，形式が変更されないように注意する。

# 使用する書体は，原則として和文の場合「明朝体」，英文の場合「Times (New Roman)」とする。文字の大きさは和文の場合10.5ポイント，英文の場合12ポイントとし，1ページの行数を35行とする。和文の場合は1行40字とする。原稿は30枚以内とする。

# 日本語の句読点は，「，」と「。」にする。英数字には半角を使用し，全角は原則として使用しない。ページ番号はつけない（刊行物にて発刊する場合に表示される）。提出時に形式が守られていない場合には，提出を受け付けない場合や，書式不備がある場合には，編集委員会の判断で掲載を見送ることがある。

# **1.4 見出し（セクション）の番号の付け方**

　見出し（セクション）の番号の有無やつけ方は，著者の専門分野の慣例に従うものとし，共通の規則は定めない。

# **2. その他のガイドライン**

# **2.1 引用方法**

本文中での引用方法はAPAに基づく。和文の場合は前後の括弧を全角（）で記載する。英文の場合はすべて半角括弧 () となる。和文中引用の例は（Abney, 2021; 井田, 2000）または（井田, 2000; Abney, 2021）括弧内はアルファベット順または発行年順で記載する。著者が2名の場合は，古田・吉田（2022）というように，間を中黒・で区切る。著者が3名以上の場合は，英語の場合と同様に，初出時点から第1著者名のみ表記し, 第2著者以降については表記せず，第１著者名他（年号）とする。

# **2.2 図表**

# 図表は本文中に入れ，通し番号をつけ, 図表のタイトル(キャプション)を記述する。表の番号とタイトルの位置は，著者の専門分野の慣例に従うものとし，共通の規則は定めない。

**2.3 注**

1. 注は脚注ではなく，本文と参考文献の間にまとめて記載する。

2. 本文中では「これは注釈の例1」というように右肩上付で注をつける。

**2.4 引用文献**

引用文献の書き方は，著者の専門分野の慣例に従うものとし，共通の規則は定めない。引用文献は本文で引用したもののみを英文・和文ともにアルファベット順で掲載する。

**Title in English: Capitalize All Words Except for Articles, Conjunctions, and Prepositions Fewer Than Four Letters**

SURNAME, Name

*Name of Affiliation in English*

**Abstract**

Articles should have an abstract up to 300 words in English. Articles should have an abstract up to 300 words in English. Articles should have an abstract up to 300 words in English. Articles should have an abstract up to 300 words in English. Articles should have an abstract up to 300 words in English. Articles should have an abstract up to 300 words in English. Articles should have an abstract up to 300 words in English. Articles should have an abstract up to 300 words in English. Articles should have an abstract up to 300 words in English. Articles should have an abstract up to 300 words in English. Articles should have an abstract up to 300 words in English. Articles should have an abstract up to 300 words in English. Articles should have an abstract up to 300 words in English. Articles should have an abstract up to 300 words in English. Articles should have an abstract up to 300 words in English. Articles should have an abstract up to 300 words in English. Articles should have an abstract up to 300 words in English. Articles should have an abstract up to 300 words in English. Articles should have an abstract up to 300 words in English. Articles should have an abstract up to 300 words in English. Articles should have an abstract up to 300 words in English. Articles should have an abstract up to 300 words in English. Articles should have an abstract up to 300 words in English. Articles should have an abstract up to 300 words in English. Articles should have an abstract up to 300 words in English. Articles should have an abstract up to 300 words in English. Articles should have an abstract up to 300 words in English.

**Keywords:** keyword 1, keyword 2, keyword 3, keyword 4, keyword 5